

2015年9月20日（日曜日）  
秋の大雪山3日目(黒岳～中岳～旭岳)  
～Report by 能勢～(Photo by 参加者の皆さん)

今日は、大雪登山ツアーの3日目、層雲峠から黒岳に登り、北鎮岳肩の分岐、中岳、間宮岳を経由して旭岳を踏破する9時間の大雪山縦走を予定している。

大雪縦走に不要な荷物はジャンボ個人 Taxi に預け、旭岳で受取ることにしたので比較的にザックは軽い。4:30に起床、朝食のお結びを頬張り、昼の弁当をザックに詰め込む。シルバーウィークの2日目なので、黒岳ロープウェイが混むことを予想して、6:00発の一番に乗る為に5:30にペンションを出発した。

一昨日の高原温泉沼巡りも昨日の銀泉台も雨の中の紅葉巡りだったので、今日こそはと天気の回復を祈る。



リゾートペンション山の前で集合写真、大雪山の紅葉に期待して笑顔が漏れている。



小野寺さんが10年間愛用した登山靴の靴底が剥がれ始め、危険な状態。そろそろ買換えだね。  
いざという時の為に、昨晩泊まったペンションで借りた長靴をザックに入れて持っていくことにした。  
取敢えず登山靴を靴紐で縛り、応急措置をしたが、果たして大雪縦走に耐えられるか心配だ。



黒岳ロープウェイ(7分、1100円)の5合目情報を見ると、  
「気温 10°C、小雨、視界 Bad」に一同ガックリ。(5:45)



黒岳五合目からリフトに乗車(15分、400円)



黒岳 5 合目駅からリフトに乗り換える。



リフトから見る草紅葉が綺麗だ。



黒岳ロープウェイとリフトを乗り継ぎ、  
黒岳七合目登山口(標高 1510m)に到着。(6:30)  
登山届はここのお店に出すのだが、  
先を急ぐあまり、忘れてしまった。  
が、実は石井さんが代わりに出ておいてくれたことがあとでわかった。  
さすが石井さん！



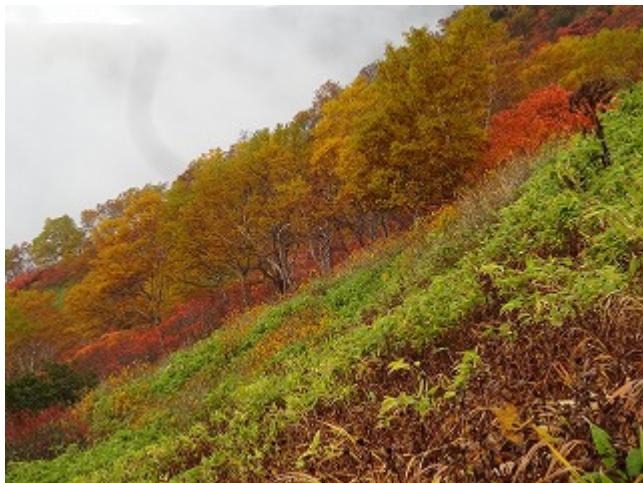
いよいよ黒岳登山口からアタック開始、大雪山縦走が始まる。(6:40)

ここから山頂までひたすら登りではあるが、標高差470mの登山道は整備されていた。



青空も覗き、天気の回復が期待できる。

黒岳は急騰が続き、比較的気温も高く、汗をかきはじめ、全員、早くも着ていた上着を脱いだ。



大雪山の紅葉は日本で一番早いと云われており、既に紅葉は見頃を迎えている。

黒岳9合目に到着、一息入れる。(7:30)

黒岳9合目近くにある「招き岩」が、我々を山頂に招いている。



標高 1510mの黒岳 7合目から 1時間 20分で  
黒岳頂上(1984m)に到着、  
予定通りで、ここまで順調。(8:01)



ウラシマツツジの紅葉が美しい。  
白いのは枯れたコマクサか？



真っ赤なのはハクサンフウロ。  
オレンジは？白はヤマハハコ。配色の妙。



黒岳山頂を過ぎると遠く避難小屋の黒岳石室が  
見えてきた。  
ガスがかかっているが、登り 1時間 20分程度で  
見られる贅沢な大展望だ。

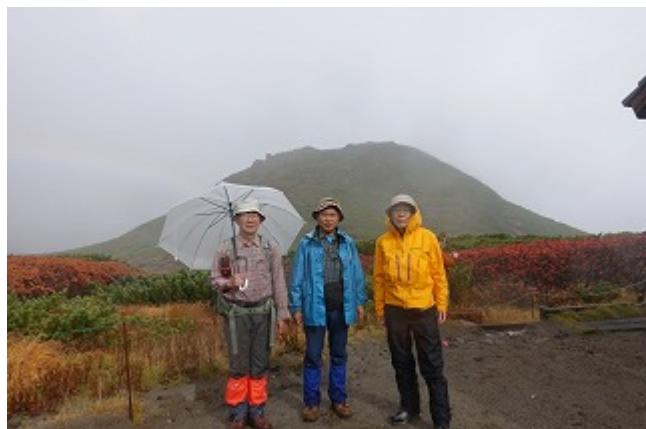


クロマメノキの実



イワギキョウ

黒岳山頂から 20 分で黒岳石室に到着(8：40)、  
夏期の 6/末～9/末までは管理人が常駐していて、  
シュラフ代 1000 円を含めて、料金 3000 円で素  
泊まりが出来るそうだ。  
ここには水とトイレがある。  
昨晩、ここに泊まって星を観察していた母娘に  
出会った。  
小雨が降って來たので、ここでレインウェアを  
着たが、天気が上向くと思い下のレインウェア  
を着なかつたのが、後で辛い思いをすることに  
なつた。



後ろの桂月岳は標高 1938m、往復 30 分で登れるそうだ。



雲ノ平を歩きたいので北鎮岳方面に進む。



ウラシマツツジの紅葉



ウラシマツツジ、コケモモなどの紅葉  
白いのは枯れたコマクサ？



雲ノ平周辺は、夏であれば一面のお花畠となるそうだ。





御鉢平から流れる赤石川が遠めにかすんで  
見えた。



登山道の両側が綺麗に赤く色づいている。



黄色のダケカンバと真赤なナナカマドが綺麗に紅葉している。

御鉢平展望台に到着したが、直径 2km の噴火口・御鉢平が望める筈だが、霧で何も見えないのが残念。(9 : 30)





「ヤマレコ」から拝借した御鉢平の写真、晴れていれば、こんなに綺麗な雄大な景色が拝めるのです。



御鉢平展望台から多少の登りではあるが、稜線にある北鎮岳肩の分岐は雨風が強く、立っていられない状態。ここで吉松さんの傘が煽られて、転倒したが怪我がなくて良かった。(10：10)



いつの間にか中岳(2113m)を登頂(10：41)、中岳分岐から北海道の最高峰・旭岳に登る予定であったが、雨風が強く裾合平にエスケープすることにした。このまま旭岳に登っていたらトムラウシの遭難事故の二の前になるところだった。ここから旭岳経由で姿見駅まで4時間はかかるだろう。



中岳分岐を下ると風が治まり、雨でびしょ濡れで低体温症になるところだったのでホットしている。



中岳分岐から 30 分下ると登山道沿いに忽然と天然温泉・中岳温泉が現れた。  
かなり熱い温泉が出ていた。  
黄色いテントが一張あり、登山者が露天風呂に入るつもりだろう。  
天気が良ければ足湯でも入りたいところだ。



ロープを張った登山道を裾合平に下る。

中岳温泉から裾合平に向けて火山岩がゴロゴロした登山道を下る。もう心配はいらない。



真赤な絨毯を敷き詰めたようなチングルマの紅葉が圧巻だ。



木道が現れ、さらに楽になった。



流石に大雪、スケールの大きいチングルマの紅葉に感動。これを見ただけでも良しとしよう。(11：40)



旭岳を背にしたチングルマの草紅葉。  
デジカメのレンズが曇ったので、スマホで  
撮ったところこんなに綺麗な写真が撮れた。  
防水性能の高いデジカメが欲しいものだ。



登山道を下りきったところが裾合平に到着(12：00)

左に当麻乗越から沼ノ平、右に行くと姿見駅・旭岳温泉方面に向かう。



裾合平でお結びをパクつきながら、石井さんが運んでくれた赤ワインで乾杯。(12:07)



我々が飲んでいた赤ワインを見て、名古屋の叔母ちゃん達の「良いわね」の声に、石井さんが、早速、ワインを振舞う。流石、元営業だね。



今日は、悪天候のためかシルバーウィークにもかかわらず、黒岳石室から裾合平まで2~3人の登山者にしか会わなかった。我々と同じルートを来るはずの7~8人の叔母ちゃんグループも諦めたのだろうか？



擂鉢池と鏡池 2つ合わせて夫婦池と云うのだそうだ。



全員疲れているので姿見の池も眼中になく、ロープウェイに直行する。(13:30)



裾合平から1時間40分、やっと姿見駅に到着。旭岳は霧の中で見えない。(13:40)  
待つことなく臨時便に乗車できた。乗車券が片道1650円、往復2900円はかなり高い。



14:30 グランドホテル大雪に到着。  
旭岳ロープウェイ駅から1km、15分と  
云われたが、疲れているためかなり遠かった。

小野寺さんの登山靴は惨めな状態ではあるが  
なんとか頑張ってくれた。  
持って来た長靴は無駄になったが良かった。



その後、温泉でサッパリ、  
こここの温泉は、3つの源泉100%かけ流しで、  
素晴らしい温泉だった。

18:00から夕食、  
蟹とサラダが食べ放題、  
まずはビールで乾杯、誰も怪我もなく、  
無事に下山出来て良かった。



お腹も一杯になり、ビールと疲れで、早くも熟睡モード、

蟹を鱈腹食べて、満足そうな女性陣

この後は、部屋で一杯といくところだが、疲れで気勢があがらず早めの就寝となった  
明日は、個人Taxiで、青の池、美瑛、四季彩の丘、旭山動物園を回ることになっているが、  
最終日ぐらいは、良い天気になって欲しいものだ。  
今回は、天気には恵まれず旭岳まで踏破出来なかつたが、雄大な大雪山の紅葉に魅了され、機会を見て  
リベンジすることにする。